

STAGE+を楽しむ(14)(HP 収載)  
—ガーディナーのブラームス—

1. 始めに

前報(13)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

STAGE+の最新収録情報から、ジョン・エリオット・ガーディナー指揮コンサートヘボウのブラームスの交響曲 4 番とピアノ協奏曲 2 番を選びました。

Gardiner conducts Brahms: Symphony No. 4 & Piano Concerto No. 2

Concertgebouw Orchestra

Between 2021 and 2023, one of the classical worlds most distinguished conductors joins forces with one of its most tradition-steeped orchestras to perform a Brahms cycle. Sir John Eliot Gardiner and the Royal Concertgebouw Orchestra present four symphonies, the two piano concertos and several choral works. This live broadcast features the Second Piano Concerto with British pianist Stephen Hough and the Fourth Symphony. While the concerto shows Brahms at his most expansive and relaxed its beautiful slow movement featuring a poignant cello solo his last symphony achieves a depth of expression that verges on the tragic, especially in the grandly imposing passacaglia of the finale.

Soloist:

Stephen Hough (Piano)

Ensemble:

Royal Concertgebouw Orchestra

Conductor:

John Eliot Gardiner

Johannes Brahms

Piano Concerto No. 2 in B Flat Major, Op. 83

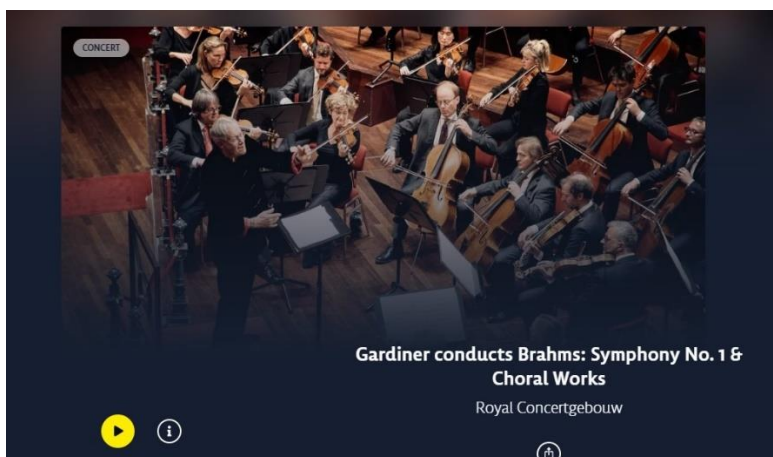
Stephen Hough(Piano)

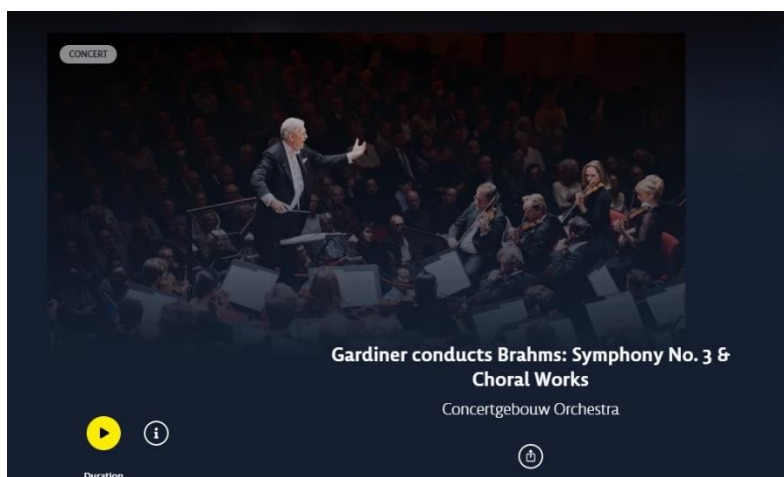
Johannes Brahms

Symphony No. 4 in E Minor, Op. 98



なお、一昨年9月には、同じくガーディナー指揮コンセルトヘボウによるブラームスの交響曲1番の演奏が、昨年5月には、ブラームスの交響曲2番とピアノ協奏曲1番の演奏が、昨年10月には、同じくブラームスの交響曲3番の演奏が公開されましたので、これらも聴いてみました。

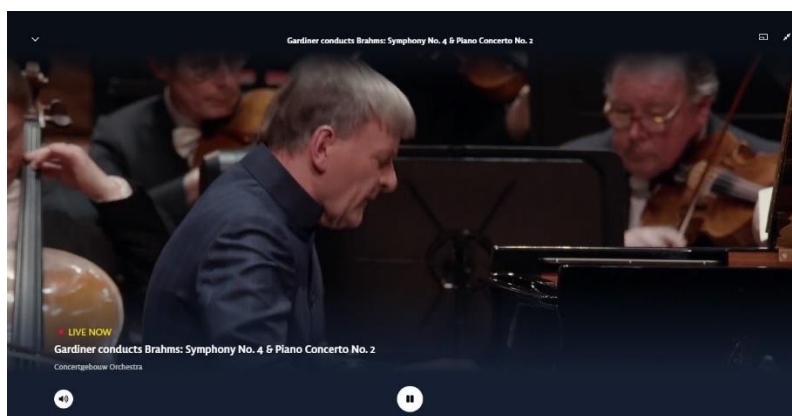




今回も再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(17)で報告した LAN ケーブルへの NRF-005T の適用を行っており、STAGE+の再生時には、ルーター/スイッチングハブ間およびスイッチングハブ/PC 間の LAN ケーブルへの処理が関係しています。

### 3. 試聴の経過

新規の画像付き音源のリストから上記のプログラムを選択して再生していきます。今回は、Relive が昼間にありましたので Archive ではなく Relive の配信を視聴しました。途中画面と音が途切れるトラブルもありましたが、何とか聴き終わりました。Relive の配信では、編集していないので、演奏開始やインターミッションはライブのままです。



ピアノ協奏曲 2 番では、Stephen Hough が端正でありながら、抒情性豊かに歌い上げます。アンコール曲も美しい小品でした。



ブラームスの交響曲 4 番では、ブラームスの交響曲の中では一番美しい曲ですが、ガーディナーの淡々とした指揮の下、コンセルトヘボウの熟達の演奏が繰り広げられます。

なお、STAGE+のアーカイブでは安定した再生で、今回の Relive の途切れの理由は不明ですが、アクセスが集中して回線が込みあったことかもしれません。このように受信途切れはありましたが、下記のアーカイブより心もち音質は良いように感じました。

追加試聴のブラームスの交響曲 1 番では、ブラームスがベートーヴェンを意識して作曲したものと言われ、荘重な雰囲気を漂わせます。

ブラームスの交響曲 2 番では、美しい旋律が散りばめられた抒情性あふれるところから終章の疾走まで、交響曲 4 番同様、ガーディナーの地味ながら手堅い指揮の下、コンセルトヘボウが構成のしっかりした演奏を聴かせてくれます。

ピアノ協奏曲 1 番では、上記のピアノ協奏曲 2 番と同じく Stephen Hough の演奏ですが、重厚なコンセルトヘボウのオーケストラをバックに、構成のがっちりしたオーソドックスな演奏です。

交響曲 3 番では、他の 3 曲に比べると地味な存在ですが、ガーディナーの手堅い指揮により、コンセルトヘボウが充実した演奏を聴かせてくれます。

以上により交響曲 4 曲全曲、ピアノ協奏曲 2 曲ともすべて視聴できました。

#### 4. まとめ

ジョン・エリオット・ガーディナー指揮コンセルトヘボウのブラームスの交響曲とピアノ協奏曲の演奏の最新収録を視聴し、仮想アースや NRF-005T の効果を確認できました。

以上